

## 環境教育講座

整理番号: 20250719

イベント名	循環型社会の実現に向けた環境行動
実施内容	
活動日時	2025年7月19日(土) 10:00~11:00
活動場所	浜松市西部清掃工場 啓発施設「えこはま」
活動者名	高根美保
詳細	①ごみってなに? 廃棄物処理法について ②循環型社会に関わる法制度の歴史 ③SDGsの浜松市の取り組み、2024国際連合広報センターの進捗報告 ④ごみになる時間と温室効果ガス排出について ⑤自分たちができる具体的な環境行動

事業の様子と成果	<p>参加者: 浜松市神久呂中学校3年生 3名                  配布物: 紙容器リサイクル事業(チラシ・紙袋・メモ帳)                  中学校の環境学習を実施しました。                  事前質問では、清掃工場が出す二酸化炭素に興味を持っていたようです。                  ごみについての説明後は、自分ごととしてごみも二酸化炭素の排出も考える必要があることが分かったとの事です。                  また、環境行動(3R)についても「リサイクル」が優等生だと思っていたことやリデュースを忘れていたことから改めて学べたとのことです。                  リデュースを忘れた理由としては、リユース・リサイクルの言葉が日常でよく使われるからとの事でした。                  リサイクルの大事な「正しく分ける」目印となる「環境マーク」については、知らないそうです。                  賢い消費者となるよう「環境マーク」についても説明を行った。</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rの優先順位の意味を理解した。</li> <li>・環境マークの表示やマークの意味を理解した。</li> <li>・環境問題は、自分ごととして考える必要があることを理解した。</li> <li>・今回の学習のまとめとして、リサイクル行動を校内で実施することを勧めた。</li> <li>・合わせて、保護者にも同様の環境行動を勧めた。</li> <li>・保護者の中で小中学校の図書館司書の方が、勤務先の掲示物等で紹介できるよう働きかけたとの申し出があった。</li> </ul>
----------	--



記録添付

